

めあて：条件式を使ってプログラムを実行しよう！

○条件式と条件分岐式

ある条件にあっているかどうかを計算し、条件にあっている場合は（ ）、
あっていない場合は（ ）という答えを出す計算式を（ ）という。

また、ある条件に合っている場合と、あっていない場合とで実行する命令をかえる記述を
（ ）という。

○今日のコード

①変数名 = input(“メッセージを表示：”)
⇒数字や文字を入力させたいとき
例) number = int(input(“数字を入力してください。”))
(※ int: ()、float: ())

② () ⇒条件分岐式
書き方) if 条件式:
 #条件がTrueのときに実行される処理
 else:
 #条件がFalseのときに実行される処理

③ () ⇒3つ以上の条件式

④ () ⇒繰り返し文

○比較演算子

記号	意味	記号	意味
$A == B$	AとBは等しい	$A != B$	AとBは異なる
$A < B$	AよりBが大きい	$A <= B$	AはB以下
$A > B$	BよりAが大きい	$A >= B$	AはB以上

○例題 次のプログラムをコピーして実行してみよう。【主】（各2点×6＝12点）

問題	プログラム
<p>例題1)</p> <p>年齢を入力し、18歳以上であれば「あなたは大人です。」18歳未満であれば「あなたは未成年です。」と表示させるプログラムを作成する。</p>	<pre>age = int(input("年齢を入力してください。")) if age >= 18: print("あなたは大人です。") else: print("あなたは未成年です。")</pre>
<p>例題2)</p> <p>3つ以上の条件式 13未満であれば「子どもです」 65未満であれば「大人です」 65以上であれば「シニアです」と表示させるプログラムを作成する。</p>	<pre>age = int(input("年齢を入力してください。")) if age < 13: print("子どもです") elif age < 65: print("大人です") else: print("シニアです")</pre>
<p>例題3)</p> <p>(1) 0～4まで数字を表示させる。(for文) (2) 2～6まで数字を表示させる。(for文) (3) 0～10未満まで2ずつ数字が増える数列を表示させる。 (4) 「5×0」～「5×9」までの計算を表示させる。</p>	<pre>#(1) for i in range(5): # 0 から 4 まで繰り返す print(i) #(2) for i in range(2, 7): print(i) #(3) for i in range(0, 10, 2): print(i) #(4) for i in range(10): print(5, "x", i, "=", 5*i)</pre>

○課題【思】（各4点×7＝28点（減点法））

提出締め切り：次の情報の授業まで。リンクをクラスルームから提出すること。

<p>課題1)</p> <p>点数を入力させ、50点以上であれば「合格です。」50点未満であれば、「不合格です。」と入力させるプログラムを作成する。</p>
<p>課題2)</p> <p>点数を入力させ、90点以上であれば「優秀です!」、90点未満かつ70点以上であれば「合格です!」、70点未満であれば「もう少し頑張ろう!」と表示させるプログラムを作成してください。</p>
<p>課題3)</p> <p>年齢を入力させ、5歳以下ならば「入場料金は無料です。」25歳以下ならば「入場料は学生料金600円です。」60歳以下ならば「入場料は大人料金1000円です。」それ以外は「入場料金はシニア料金700円です。」と表示させるプログラムを作成してください。</p>
<p>課題4)</p> <p>(1) for文を使って、0から20まで数字を表示させるプログラムを作成してください。 (2) 101以上130未満の数字を表示させる。 (3) 400以上1000未満の数字を163ずつ増やした数列を作成する。 (4) 「333 × 0」～「333 × 9」までの計算を示す。</p>